TOYOTA MOTOR SALES

ゴール

TMS のマネージャーが企業内システムの全データを分析できるように、Hyperion ビジネスインテリジェンスアプリケーションのデプロイを簡素化すること

DataDirect を選択した理由

Hyperion 社は、すべての主要なデータベースへのデータ接続基盤して、設定のみで即利用可能という理由から、DataDirect for ODBC を選択しました。

ビジネスメリット

TMS の IT スタッフは、データ接続について全く考慮することなく、より多くのマネージャに、より多くのシステムにまたがる、より多くの分析アプリケーションを提供できるようになりました。

テクニカルメリット

Solaris や HP-UX アプリケーションから SQL Server のデータにアクセスすることで、複雑なインフラでもシームレスに融合します。

数千人のアナリスト向け ビジネスインテリジェンスを実現

比較的単純なインフラストラクチャーの変更により、24 時間で 10 万ドルのコスト削減を実現できるということは、大きな投資に成功したことと同様です。これは、Toyota Motor Sales (TMS)のデータマネジメントチームが様々な環境が入り組んで複雑化したデータアーキテクチャーに Progress DataDirect for ODBC を導入した時にも同じことが言えます。

TMS は、トヨタ、レクサス、シオンの自動車ラインナップのマーケティング、販売、流通および顧客サービスを管轄しています。TMS のとにかく大規模な顧客情報ネットワークは、最高レベルのビジネスインテリジェンスツールを必要としていました。TMS は、Oracle、SQL Server、DB2 など様々なデータベースシステムに格納されているデータを管理・照会する基盤として、Hyperion 8 を選択しました。

その Hyperion がバンドルしていたのが、Progress DataDirect でした。

Progress DataDirect ODBC、JDBC ドライバは、Hyperion のビジネス・パフォーマンス管理(BPM)スイートに組み込まれています。これにより Hyperion の顧客は、Windows および Windows 以外のプラットフォームで稼働するほぼ全てのリレーショナル・データベースに対し、導入後、すぐにアクセスすることが出来ます。

データマネジメントグループのデータアクセス責任者 Mike Burkes 氏によると、Progress DataDirect は組織内のあらゆるデータソースへの接続を実装できるものでした。TMS は、Hyperion Performance Suite を導入後、すぐにこれまで不可能であったことが実現したことを実感しました。

例えば、Solaris 環境から SQL Server や DB2、そして HP-UX 上の Oracle データベースなど全てのデータに対し、簡単かつ確実に接続できるようになった事です。このインフラストラクチャの変化は、すぐに印象的な結果をもたらしました。

「プロジェクトの初期に、あるビジネスユニットは複雑な技術的課題に直面しました。彼らの要件は、さまざまなデータソースからデータを取得する必要があったのです。Burkes 氏は続けます。「想像してみて下さい。プロジェクトチームとの打ち合わせの最中に、私のチームがいとも簡単にデータ接続設定をし、会議終了時には必要なデータが全て手元に揃っていた時の、皆の驚いた顔を。プロジェクト予算から、控えめに言っても 10 万ドル(およそ 1,000 万円)を別のプロジェクトに割り当てることが出来たため、すべての人にメリットをもたらすことができました。」

TMS の IT スタッフは、Hyperion レポーティングアプリケーションに DataDirect for ODBC を組み込むことで、データがどこに格納されていても、そのデータにアクセスして分析するビジネスニーズに容易に応えることができるようになりました。それからは、複雑なデータ接続の問題を解決することに気を紛らわせることなく、ビジネスをサポートするためにクリティカルなアプリケーションの構築に集中するようになりました。

TMS では、トヨタとレクサスのすべてのディーラーに分析アプリケーションの配布を完了する翌年、Hyperion 8 の導入をさらに拡大する予定です。各ディーラーは、在庫や顧客満足度に関する情報をほぼリアルタイムで可視化出来るようになりました。

これらの新しく導入された全てのアプリケーションは Progress DataDirect for ODBC を使用してデータベースにアクセスします。Mike Burkes 氏は、「このソリューションにより、私たちはビジネスをより効率的に運用することができ、財務的利益をもたらしました。私たちは、Progress DataDirect for ODBC の特徴である優れたパフォーマンスと柔軟性から大きな利益を得ています。DataDirect を使用することで、データ接続がプロジェクト計画のリスクになることは決してありません。」と語ります。

「Progress DataDirect for ODBC の特徴である、優れたパフォーマンスと柔軟性から大きな利益を得ています。DataDirect を使用することで、データ接続がプロジェクト計画のリスクになることは決してありません。」

Mike Burkes
Toyota Motor Sales
データアクセス責任者

（米国Progress社Web掲載の事例の日本語抄訳です。） Progress、DataDirectは、商標、もしくはProgress Software Corporation または、アメリカや他国のProgress Software Corporation関連会社や支社の登録商標です。本文書の他の標識は、所有者の異なる商標である可能性があります。仕様は予告なく変更されることが あります。
© 2017 Progress Software Corporation. 著作権はProgress Software Corporationに帰属します。
All rights reserved. 無断複写・転載を禁じます。

株式会社アシスト
https://www.ashisuto.co.jp/
E-Mail：progress@ashisuto.co.jp

Progress® DataDirect®